

議会だより

9月定例会

■発行／八千代町議会

No.163

■編集／議会だより編集委員会

平成27年度歳入歳出決算・水道事業決算を認定

平成28年第3回定例会は、9月6日から14日までの9日間の日程で開催されました。

この定例会では、議員提出議案2件のほか、町執行部より平成27年度決算をはじめ、条例改正など18議案が提案され、16議案を可決し、1議案を否決しました。また、1議案を特別委員会に付託し、継続審査としました。

一般質問は、9月12日に行われ、6人の議員が登壇し、町の方針をたしました。

可決した議案内容

●議員提出議案

◇教育予算の拡充を求める意見書の提出

教職員定数改善の推進、教育の機会均等と水準の維持向上、また、震災等からの教育復興のため、予算措置の継続を要望するものです。

【提出先】

- ・内閣総理大臣・財務大臣
- ・文部科学大臣・総務大臣
- ・内閣官房長官

●報告

◇平成27年度農業集落排水事業特別会計予算継続費精算報告書

平成26年度から2カ年事業として設定した中結城東部地区農業集落排水事業継続費の精算を報告するもので、支出額は5億2千660万8千円です。

◇平成27年度健全化判断比率等の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見書を付け、健全化判断比率等を報告するものです。

●条例

◇特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

労働安全衛生法の規定により、専門家として職員の健康管理等を行うため、産業医を選任し、「非常勤特別職の職員」に位置づけるものです。

◇都市計画審議会条例の一部改正

審議会委員の意見により、審議会会長の選出方法を全委員の互選に改正するものです。

●平成28年度補正予算

◇一般会計（第2号）

例規整備支援業務委託料、システム開発業務委託料、茨城西南医療センター病院運営費負担金、町道舗装補修・排水整備及び法止工事請負費、新堀川堤防復旧工事設計業務委託料及び工事請負費等で、6千87万7千円を増額するものです。

◇国民健康保険特別会計（第1号）

医療費の増加による保険給付費、社会保険診療報酬支払基金への納付金等で、1億2

千771万3千円を増額するものです。

◇介護保険特別会計（第1号）

国・県の介護給付費負担金に超過額が生じたことによる償還金等で、1億2千771万3千円を増額するものです。

◇下水道事業特別会計（第1号）

経営戦略策定業務等で、133万円を増額するものです。

●人事

◇教育委員会委員の任命同意

任期満了となる、現委員の野口晴江さん（松本）を再任することに同意しました。

◇教育委員会教育長の任命同意

高橋昇教育長が9月30日をもって任期満了となることに伴い、新教育長に赤松治さん（川尻）を選任することに同意しました。

●契約

◇八千代町立東中学校旧校舎解体工事

大里産業（株）と8千620万5千600円（税込）で契約するものです。工期は、平成29年3月31日までです。



新校舎の完成に伴い取り壊される東中旧校舎

◇八千代町立東中学校備品購入

（有）せきと2千386万8千円（税込）で契約するものです。

●その他

◇平成27年度水道事業剰余金の処分

未処分利益剰余金1億2千777万4千976円のうち



ち、1億2千717万9千171円を減債積立金及び建設改良積立金に積み立て、59万5千805円を資本金へ組み入れるものです。

● 請願審議結果

◇教育予算の拡充を求める請願

すべての生徒に、丁寧で地域格差のない教育を受けさせるため、国や関係機関に対し、教育予算の拡充を求める意見書の提出を要請します。

【提出者】

茨城県教職員組合
吉田 豊さん

【審議結果…採択】

↳ 決算認定

平成27年度一般会計及び6つの特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算について、関係常任委員会に付託し、審議した結果、すべて原案のとおり認定しました。



予算の使い道を点検

否決した議案

● 議員提出議案

◇町長に対する辞職勧告決議

【提出者】 大久保敏夫議員

【提案理由】

町長自ら、私の個人情報や他人に漏らしたことは犯罪行為に該当する。また、定例会の一般質問で、虚偽の答弁をし、議会を冒涇した。以上のことから辞職勧告するものである。

賛成少数で否決

継続審査とした議案

● 条例

◇行政組織設置条例

多様化・高度化する住民ニーズや、社会情勢の急激な変化、地方分権による権限委譲や、地方創生による総合戦略の推進など、増加する行政課題に迅速に対応できるよう、部制の導入を柱とする組織機構の再編を行うため、条例を制定するものです。

・部の設置（5部）

「秘書公室」「総務部」「企画財政部」「保健福祉部」「産業建設部」

※別に教育委員会事務局設置規則に「教育部長」課の体制（21課に再編）



行政組織設置条例検討特別委員会の様子

・施行日（平成29年1月を予定）
・町民への周知・広報を行い、窓口業務等に支障のないよう進める。

八千代町行政組織設置条例
検討特別委員会を設置

9月6日の本会議において、行政組織に関する事項の調査及び検討を行うため、全議員で構成する「八千代町行政組織設置条例検討特別委員会」が設置されました。また、委員長に湯本直議員、副委員長に水垣正弘議員が選出されました。

第3回定例会における議案等の審議結果

審議内容	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	議長
	審議結果	増田 光利	国府田利明	大里 岳史	廣瀬 賢一	大久保弘子	上野 政男	中山 勝三	生井 和巳	水垣 正弘	小島 由久	宮本 直志	大久保敏夫	湯本 直	大久保 武
28. 町単八千代町立東中学校旧校舎解体工事請負契約の締結について	可決	○	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
平成27年度八千代町歳入歳出決算の認定について	可決	○	×	×	欠	×	○	○	○	○	○	○	×	○	-
八千代町長に対する辞職勧告決議について	否決	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	-

○・・・賛成 ×・・・反対 欠・・・欠席

※今定例会で審議された議案等のうち、意見の分かれた案件のみ、上記の一覧表に掲載しています。なお、記載のない議案等については、「全会一致（全員が賛成）で可決または承認」しています。審議の詳細内容は、議会のホームページの会議録（11月下旬頃掲載予定）をご覧ください。

八千代町立図書館の図書資料費について



増田 光利議員

生涯学習課長 様々な分野の資料をそろえ、利用者の皆様に提供していかねければなりませんので、利用者拡大の面から、財政状況が厳しい中でありますが、引き続き、図書資料の整備に努めてまいります。

また、読書活動を推進するため、巡回図書事業として、平成17年度から各小学校に図書200冊ずつ5回、年1千冊を貸し出し、平成22年度からは各中学校に250冊ずつ2回、年500冊を貸し出ししております。

当町の人口一人当たりの図書資料費は、県西自治体のなかで、結城市に次いで第2位となっております。今後、1位を目指し、教育文化に特色あるまちづくりを進めることで、町外からの移住促進や若い人達の定住促進に役立つと考えますがいかがでしょうか。

小学生の読書率は県内でもトップの成績であると報告を受けております。読書習慣の確立は重要な教育目標であり、継続・発展させることを望みますが、今後の取組について伺います。

また、教育委員会のホームページが更新されておりませんが、現在の活動状況についてお伺いします。

平成26年度からは、町立図書館が主体となり各学校からの要望を受け、学校の図書室環境整備への支援や出前講座での本の読み聞かせ、クイズ形式での図書館利用方法の説明など、子どもたちに図書館や読書に興味を持つてもらうための活動を実施しております。

学校教育課長 教育委員会のホームページにつきまして、今後充実を図ってまいります。

ます。

教育長 学校教育では、映像文化よりも活字文化を活用しながら、子どもたちの成長に寄与していきたいと思っております。



図書資料費の充実を

小学校英語教育は、平成32年度より小学校5・6年生の教科として導入されますが、不安に感じている保護者の方も多く、教育格差の拡大も懸念されます。準備期間の現在、どのように取り組まれているのか、お伺いします。

学校教育課長 小学校外国語活動完全実施に伴い、英語指

町長の告訴事件・守秘義務について



大久保 敏夫議員

行動の意味は、大きいと感じております。この件についての町長の考えを伺いたい。

町長 檢察審査会への申し立てについては、檢察官の不起訴処分に対しての申し立てですので、私としましては、檢察審査会の審査を見守っていきたくと考えております。

告訴・告発された一連の事件について、不起訴処分となったことを不服とし、檢察審査会に訴えが起されました。この事件の関係者は裁判も辞さない。法廷で状況を再現されることもいとわれないとの決意で檢察審査会に申し出たのであると思います。この

導助手3名による学校訪問の時間数を増やし、1・2年生で年間12時間、3・4年生で18時間、5・6年生で35時間と、国の指定する5・6年生だけでなく、小学1年生からの実施を早くから進め、外国語活動の充実を図っております。

※その他の質問
・生活困窮者自立支援制度の学習支援計画について

6月定例会において、私が質問した個人情報漏えい問題に対し、町長は、「3月の議会で大久保議員から言われて、初めてそのことを知りました。」と答弁されております。初めて知った情報とは何であったのか、お聞きします。また、「町民の個人情報を他の一般の者に漏らしたことはない。」とも答弁されましたが、そのことに間違いはないか、再度、お答えいただきたい。

町長 私は、町民の個人情報を守る立場でありまして、知り得た情報を漏えいすることは絶対ありません。前

回と同じ答弁であります。

当町の民生委員・児童委員の選出までの過程について説明をお願いします。

また、現委員が本年11月末日をもって任期満了となることに伴い、各行政区から推薦された候補者は、全員が県に通達されたのかお聞きします。

福祉保健課長 地区担当の民生委員・児童委員については、行政区長さんから、本人の同意を得た上で、候補者の推薦をいただいておりますが、行政区長が候補者となった場合のみ、副区長より推薦をいただいております。また、主任児童委員については、町において候補者の推薦を行い、全ての候補者について、町民生委員推薦会において選考が行われ、県知事に推薦されます。県知事は、推薦された候補者について県に設置の社会福祉審議会の意見を聴いた上で、厚生労働大臣に具申し、厚生労働大臣から委嘱されます。町民生委員推薦会につきましては、県からの通知に基づき、その過程については非公開になっておりますので、答弁の方は避けさせていただきます。

高齢者の介護ボランティア制度について



中山 勝三議員

我が国の高齢者状況の推移を調査したところ、9年後の2025年には、65歳以上の方が3千657万人、人口の30.3%。75歳以上では、2千179万人で18.1%と推計されております。まさに超高齢化社会が目前に迫っているわけですが、当町の状況についてお伺いします。また、介護予防を目的として、先進的な自治体で進められます。

町長 私の立場としましては、民生委員推薦会によって決定された事項を県につなぐことが務めであると考えております。民生委員推薦会で、正式な決定はしていないと聞いていますので、経過を待ちたいと考えています。

れている取組に、高齢者介護支援ボランティアポイント制度があります。高齢者が、介護施設等でボランティア活動を行った場合に、自治体からポイントを付与され、ポイントに応じて商品との交換や上限を設けての換金、介護保険料の支払・軽減に利用できる制度であります。

ボランティア活動をするこゝとで、身体的な介護予防の促進につながることも介護現場に接することで、介護に関心を持ち、予防への意識向上にもつながります。この制度は、当町においても高齢化社会が進展するなかで、大変役立つのではないかと考えますが、導入・実施する考えはあるのか、お尋ねいたします。

福祉保健課長 (高齢者の現状と予測については別表のとおり) 厚生労働省によりますと、介護支援ボランティア活動を実施している市町村は、1千741市町村中、282市町村で全体の16.2%です。介護支援ボランティア制度は、ボランティア活動と地域

別表

	平成28年9月1日現在		2025年予測	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
八千代町全体	22,783		20,005	
65歳以上	6,050	26.1	6,525	32.6
75歳以上	2,974	13.1	3,281	16.4
	世帯数	割合(%)	世帯数	割合(%)
八千代町全体	6,739		8,632	
65歳以上単身①	313	4.6	687	8.0
高齢夫婦②	379	5.6	742	8.6
合計(①+②)	692	10.2	1,429	16.6

※2025年予測は「第6期介護保険事業計画」の推計による数値

が加速されます。こうした協議体の中で介護支援ボランティア制度の実現に向けた検討をしまいたいと考えています。

町長 団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて、国、県、市町村が一体となって介護を含めた医療や生活支援、住まいを含めた地域包括ケアシステムの構築に向け取り組んでいかなければならないと認識しています。

同居率が高い当町ではありませんが、単身高齢者世帯や高齢者のみの世帯でも元気で過ごせる町づくりに向けて、介護ボランティアポイント制度も含めた形で介護保険制度の運営を図ってまいりたいと考えています。



ボランティア活動により、自分の健康寿命を延ばし、予防への意識向上にもつながる

八千代町の学校教育をどのように進めてきたのか



小島 由久議員

高橋教育長は、平成15年に就任以来、当町の学校教育にご尽力いただきました。

これまでの実績として、小学校では、読書を積極的に推進し、全ての児童が年間50冊以上を読書するという目標を立てられ、現在まで9年連続で達成しております。中学校では、文武両道を基本に部活及び学力向上に重点をおき、特に駅伝競走においては、八千代第一中学校男女ともに関東大会へほぼ毎年出場しており、更には全国大会にも出場、特に女子においては4回の出場を果たしております。

様々な問題乗り越え、文武両道の優秀な学校づくりを進めてこられた高橋教育長の教育方針について、お聞きします。



輝かしい実績を誇る一中女子陸上部

ことは、確かな学力・豊かな心・健やかな体の3つです。これをどのように実現していくかということを考えてきました。

学校においては、学問との出会い、友人との出会い、良き先生方との出会い、3つの出会いから人間が成長するのではないかと考えています。そのためには、小学1・2・3年生は遊ぶことも大切ですので、週に1回は昼休みを1時間長くとり、全員で先生方も外に出て遊んでくださいとお願いしました。

また、現在のゲームやテレビ等の映像文化は非常に難しいところがあります。私は活字文化による読書によって、考える力を高めたり、自己抑制力を身に付ける等、読書から学ぶことは多いと思います。自分の人生は1回ですが、読書を通していろいろな人生が見える。そういうことで読書の推進を先生方をお願いしてきました。

それから文武両道。文が先だと、常に言うのは学問もできてスポーツもできる。そういう考え方でいてくださいというところをお願いしました。いじめについては、子どもの中から正義感や勇気を持たせる。勇気を出して言えるような子どもを育むということもお願いしています。

教育施設については議会の了解をいただき、本年度中に100%、校舎等含めて出来上がるということで、感謝申し上げます。

介護保険新総合事業について



大久保 弘子議員

め経営難に陥る介護事業所が続出するのは必至です。そこで、当町における対策についてお聞きします。

新総合事業に移行することにより、これまで全国一律の基準でサービスが受けられていたものが、統一基準がなくなるにより、自治体ごとに差が生じ、サービスが低下する懸念があります。また、介護予防事業においては、ボランティアやNPO、民間団体などに安い費用でサービスを肩代わりさせます。そのた

苦勞様でしたとお礼を申し上げます。

教育長 八千代町の教育については、まだまだ学力も不足しておりますし、他の面でもまだまだこれからという感じを受けております。ただ、八千代町で育った者として、議会と執行部の皆さんと一緒に仕事ができただけを心から感謝申し上げます。

福祉保健課長 総合事業では、今その地域にとって一番不足しているサービスは何なのか、的確な判断とその実現が求められます。そうしたニーズの掘り起こしやサービスの創出に向けて、住民主体の取組を推進するための協議体の設置や生活支援コーディネーターの配置など生活支援体制整備事業にも着手してまいります。

また、民間の介護事業所への影響については、総合事業の移行に当たっては、平成27年3月31日において、介護予防訪問介護等に係る指定予防介護サービスの事業者についてはみなし指定が適用されておられ、負担軽減を図っております。みなし指定の有効期限は平成30年3月末までです。その以降以降総合事業のサービスを継続して提供する場合には、町の指定を受けることとなります。

町長 介護保険新総合事業については、要支援者の状態等を踏まえ、地域とのつながりを維持しながら、自立意欲の向上につなげていけるよう準備を進めてまいります。

地理的条件を勘案して特定の生活圏域に一つの地域包括支援センターを設置すべきとされておりますが、当町には一箇所のみです。今後、増設する考えはあるのでしょうか。

また、増加する高齢者に対して、現状のままでは対応できないのか、人員の増員が必要ではないでしょうか。

福祉保健課長 地域包括支援センターの設置については、平成17年5月24日付厚生労働省Q&Aで、「おおむね2〜3万人に1カ所が目安になるものと考えている。」との見解が出ています。生活圏域だけを



安静地区における道路整備について



国府田 利明議員

安静地区において栗山、福岡、舟戸行政区の区長さんをはじめ地元町民の方から、道路整備を要望する声が上がっております。そこで、各地区の整備計画について、お尋ねいたします。

考えると2カ所ですが、総合的な判断として町直営で1カ所設置しています。

また、当町における第1号保険者数が6千人を超えていますので、地域包括支援センターの職員等に係る条例に基づき人員を増員しています。

現在、社会福祉士2名、保健師1名、主任介護支援専門員1名、介護支援専門員1名の5人体制でセンターの運営をしています。

その他の質問
中央土地区画整理事業について

栗山地内においては、道路拡幅整備を計画されていますが、工事着手の日程についてお聞きします。

次に、福岡地内については、数十メートルにわたる舗装の破損やガードレールが必要な危険箇所があります。整備する考えがあるのかお聞きします。

また、舟戸地内において、畑総事業の未開通箇所では、倒木や物の散乱、無断駐車等により危険な状態にあります。今後の対策について、どうか、お伺いします。

都市建設課長 栗山地内の道路整備については、平成28年度から5年間の年次計画により、道路拡幅工事に必要な業務委託費を事業実施計画に計上しました。

平成30・31年度の2年間に於いて、用地買収及び工作物の補償関係を実施したうえで、平成32年度から道路改良拡幅工事を着手する計画です。

産業振興課長 舟戸地内の道



拡幅工事が待たれる栗山地内の道路

路未開通箇所については、事業当初から地元協議会役員、県・町職員により幾度となく地権者との交渉を重ねてきましたが、同意を得ることができずに未整備になっている状況です。

今後の対応については、再度、関係用地や地権者等の調査とともに、関係部署による協議調整、さらには地元行政区、畑総維持管理組合と連携をとりながら慎重に対応していきたいと考えています。

町長 福岡地内の町道については、通学路、生活道として重要な道路であると認識しています。各行政区からの工事業望については現在130万件、工事費にして約3億5千万円となっていますので、予算の確保に努め年次計画により、対応していきたいと考えています。

その他の質問
八千代町の将来ビジョンについて
個人情報について

町長 私は、町長として日野自動車関係者との意見調整、知事との面談、県職員等との意見調整、広域行政の中の情報収集活動など精力的に行っておりますが、交渉事であり、具体的な成果として形になるまでは、きちんと答弁ができないことをご理解いただきたいと思います。

県や関係機関との企業誘致の話し合いの経過については、様々な可能性を模索している状態ではありますが、具体的に、確信をもって説明できるまでは見守っていただきたいと思います。

日野自動車関連企業の誘致が進まず、いまだ見通しが立っていないのが実情です。町長自ら行うと答弁したトツプセールスの成果について、お伺いします。

また、舟戸地内の道路については、今後の開通を目指し、地権者や地元の協力を得ながら慎重に推進していきたいと考えています。

その他の質問
八千代町の将来ビジョンについて
個人情報について

その他の質問
八千代町の将来ビジョンについて
個人情報について